2026年度 第3四半期

決算IR資料
（決算説明資料）

2026.11.12

株式会社ノーリツ

証券コード
5943

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

■2026年度　第3四半期 決算結果

概要

・売上高は連結全体で増収。国内は全分野で継続して大きく伸長
海外は北米・豪州は堅調も、中国の落ち込みをカバーできず減収

・営業利益は連結全体で増益。国内はトップラインの押し上げにより大幅増益
海外は中国の落ち込みにより減益

売上高 **1,474億円** （前年同期差＋48億円）

国内	1,021億円	（前年同期差＋75億円）
海外	453億円	（前年同期差△26億円）

営業利益 **10億円** （前年同期差＋1億円）

国内	6億円	（前年同期差＋8億円）
海外	3億円	（前年同期差△6億円）

純利益 **58億円** （前年同期差＋51億円）

投資有価証券の売却で、特別利益66億円を計上

前年比較

単位：百万円

	2025年 3期累計	2026年 3期累計	累計 前年差 （金額）	増減率 （%）
売上高	142,610	147,499	+4,888	+3.4
国内事業	94,658	102,175	+7,517	+7.9
海外事業	47,952	45,323	△2,628	△5.5
営業利益	809	1,003	+194	+24.1
国内事業	△213	622	+836	ー
海外事業	1,022	381	△641	△62.7
経常利益	1,765	1,445	△319	△18.1
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	671	5,855	+5,183	+771.7

換算レート：1米ドル＝158.83円、1元＝23.31円、1豪ドル＝111.71円

国内事業の結果

全分野で増収、温水空調が売上拡大を牽引し、営業利益は累計で黒字転換

・住宅用：ハイブリッド中心に環境配慮型商品が伸長、高付加価値商品の販売も増加
・非住宅用：大型業務用給湯器を中心に販売拡大が継続
・厨房：買替え用ビルトインコンロが牽引、特に新商品の普及タイプの販売が伸長

単位：百万円

	2025年 3期累計	2026年 3期累計	累計 前年差 （金額）	増減率 （%）
売上高	94,658	102,175	+7,517	+7.9
温水空調	76,705	83,447	+6,742	+8.8
内 住宅用	69,429	75,169	+5,740	+8.3
内 非住宅用	7,276	8,278	+1,002	+13.8
厨房	11,474	12,157	+682	+5.9
その他	6,478	6,571	+92	+1.4
営業利益	△213	622	+836	ー

海外事業の結果

北米・豪州は伸長するも、中国の落ち込みを補えず海外全体は減収減益

・中国：市況低迷が続き減収、固定費削減も原価高騰で減益
・北米：業務用給湯器の拡販、チャネルミックスの改善と関税還付により黒字転換
・豪州：ヒートポンプ給湯機など電化商材の販売が、引き続き大きく伸長

単位：百万円

		2025年 3期累計	2026年 3期累計	累計 前年差 (金額)	増減率 (%)
中国	売上高	24,173	17,996	△6,177	△25.6
	営業利益	70	△1,737	△1,808	ー
北米	売上高	13,641	14,310	+669	+4.9
	営業利益	△56	674	+730	ー
豪州	売上高	8,682	11,358	+2,675	+30.8
	営業利益	906	1,318	+411	+45.4
その他	売上高	1,454	1,658	+203	+14.0
	営業利益	101	126	+24	+24.4
合計	売上高	47,952	45,323	△2,628	△5.5
	営業利益	1,022	381	△641	△62.7

国内事業（分野別）振り返り

国内事業 2026年の施策

・高付加価値商品（環境配慮型商品・社会課題解決型商品）の拡販によるトップラインの押し上げ
・非住宅用分野のストック、高シェアを強みとした業務用給湯器の拡販と非対人領域の拡大
・コミュニケーション戦略の推進による価値伝達、付加価値の訴求
・原価改善による競争力あるコストの実現

2026年分野別施策	
温水空調・住宅用分野	・ハイブリッド給湯機の環境性、省エネ性、施工性を活かした新設・既設の採用拡大 ・改正トップランナー基準への対応による高効率給湯器の構成比拡大 ・顧客体験価値の創造によるプレミアム給湯器の販売拡大
温水空調・非住宅用分野	・ストックを活かした確実なリプレイスによる業務用給湯器の販売拡大 ・高シェアを活かした周辺サービス（保守メンテナンス契約、組立配送システム） ・熱ソリューション事業による非対人領域の拡大
厨房分野	・実体験を通じた機能訴求によるビルトインコンロの中高級比率の向上 ・成長チャネル専用品を活用したレンジフードの販売拡大
事業基盤構築	・IoTリモコン販売拡大、わかすアプリのアクティブユーザー数増加によるつながり基盤構築 ・生産設備のスマート化、内製化による付加価値取り込み、サプライチェーンの全体最適化（SCP）による原価低減

温水空調・住宅用分野

高付加価値商品と環境配慮型商品による稼ぐ力の強化

- ハイブリッド給湯機の新設・既設での採用拡大
- 高効率給湯器の構成比拡大
- 顧客体験価値の創造による社会課題解決型商品の再訴求

社会課題解決型商品の再訴求

AQUA OZONE　HIITO Human Thermal Model



除菌＆睡眠＆美容でのサポート機能付き給湯器



UFB継手 ※1

環境配慮型商品の販売加速



ハイブリッド給湯機



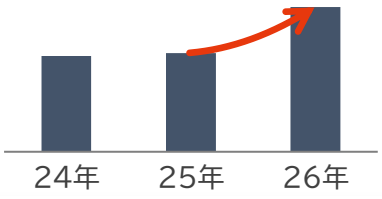


エコジョーズ

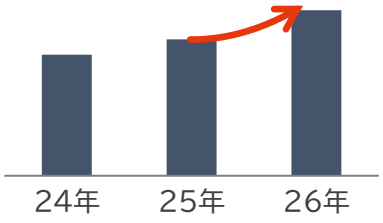
【成果】ハイブリッド給湯機・高付加価値商品の販売が大幅に伸長

- 自然冷媒ハイブリッド給湯機「HPHB R290」の大幅伸長が継続
- EX center、NORITZ EXPO活用で、アクアオゾン・UFB継手[※1]などの価値訴求により高付加価値商品、特にプレミアム給湯器の販売が大幅伸長

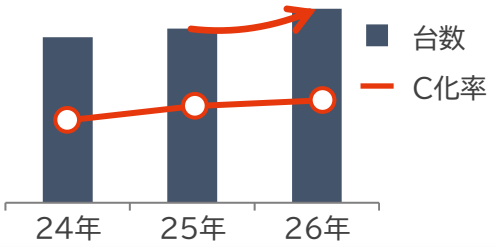
＜ハイブリッド給湯機＞



＜プレミアム給湯器＞



＜高効率給湯器＞



※1：ウルトラファインバブル継手

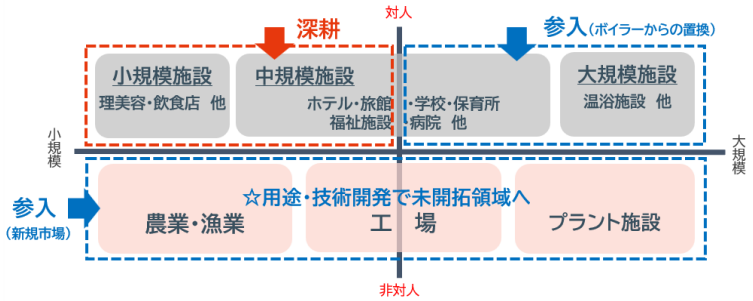
※ グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

温水空調・非住宅用分野

高付加価値商品と環境配慮型商品による稼ぐ力の強化

- 対人領域での業務用給湯器の拡販
- 非対人領域の拡大（熱ソリューション事業）
- 保守契約・組立配送による収益拡大

【非住宅分野の事業拡大イメージ】



対人領域の深耕／非対人領域の開拓



業務用
ガスふろ給湯器
※用途特化型商品



ろ過昇温
ポンプユニット

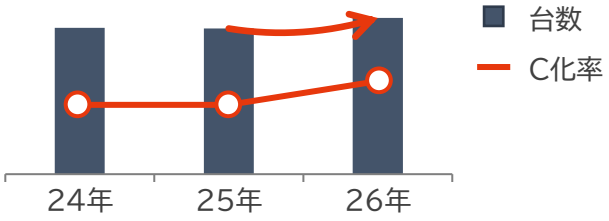


業務用ガス給湯器
連結設置

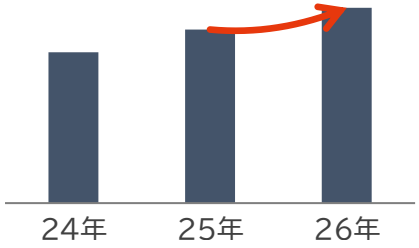
【成果】業務用給湯器の販売が堅調に推移し、シェア・C化率が向上

- 高シェアのストック活用と組立配送の拡大が、それぞれ大型業務用給湯器の販売を牽引
- 遠隔監視サービスへの評価を背景に、非住宅向け保守契約の累計件数が着実に増加

＜業務用給湯器＞



＜非住宅保守契約累計数＞



※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

厨房分野

高付加価値商品と環境配慮型商品による稼ぐ力の強化

- ビルトインコンロの中高級比率の向上
- レンジフードの販売シェア拡大
- 環境配慮型商品（スマートエコバーナー）の拡販

厨房分野の質的向上と量的拡大


ビルトインコンロ

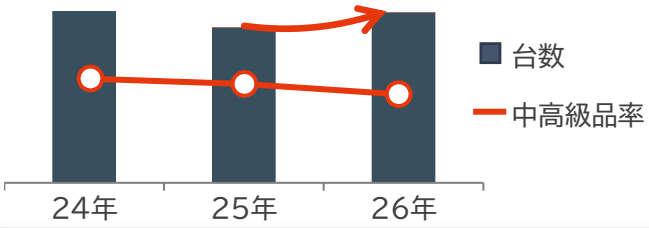

スマートエコバーナー


レンジフード

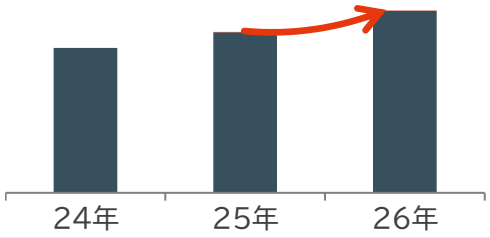
【成果】 ビルトインコンロのシェアアップ、レンジフードの伸長が継続

- ビルトインコンロは、新商品効果で需要を大きく上回る実績、中高級品も台数増加
- レンジフードは、セット販売提案と取り扱い店拡大による需要創造で大幅伸長

＜ビルトインコンロ＞



＜レンジフード＞



新商品
ビルトインコンロ　N3WV6M
デザイン性とお手入れ性を両立する
「つやめきガラストップ」採用

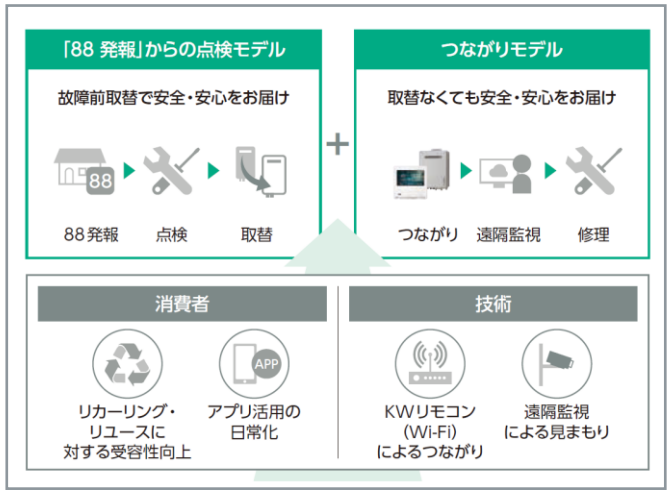


※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

事業基盤構築

新たなビジネス機会の創出／つながり基盤構築

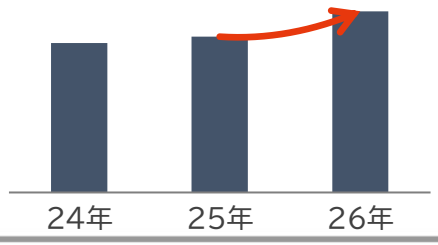
- IoTリモコンの販売拡大
- アクティブユーザーの獲得によるつながり基盤の構築
- 給湯器リサイクル（人に笑顔プロジェクト）の促進
- 市場品質向上のための故障前取替の推進



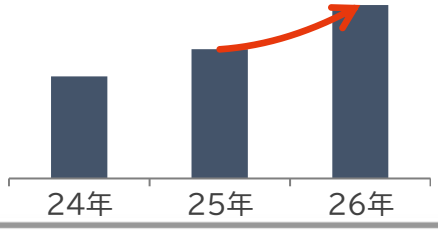
【成果】IoTリモコン拡販で接点強化、リサイクル回収も継続して好調に推移

- IoTリモコンの拡販と、わかすアプリの接続促進でつながり基盤構築は堅調
- 給湯器リサイクルは、参画店の開拓により協業販売店が拡大、回収台数も大幅増

＜IoTリモコンの販売台数＞



＜給湯器リサイクル回収台数＞





＜わかすアプリ＞

人に笑顔
プロジェクト

※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

原価低減

生産システム基盤構築によるスマート化の実現と内製比率の向上

項目	内容
➢ 材料費低減	仕入材料費の削減
➢ スマートファクトリーの実現	生産設備のスマート化
	DXによる自働化・効率化
➢ グループ内製化による付加価値取込み	外注部分の付加価値の取込み
	コストアップ防止
	生産拠点の最適化

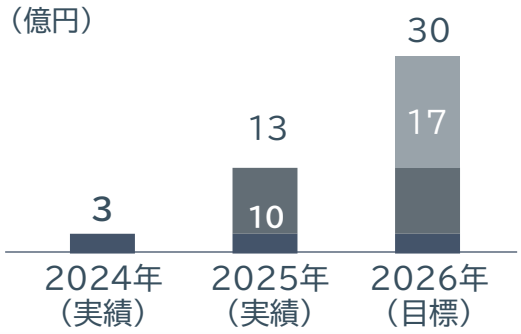
V26目標
総額30億円

2026年累計実績（素材価格変動、市場流通品調達によるコストアップは含まず）

7.61億円

（Vプラン26累計 21.17億円）

2026年までの低減目標



海外事業(エリア別)振り返り

海外事業 2026年の施策

中国エリア：市況不透明感の中、上海エリア外での拡大、コスト最適化と厨房分野の強化
北米エリア：チャネルミックス、業務用機器の販売拡大とエネルギーシフトへの対応
豪州エリア：市場変化への対応でオーガニックな安定成長を維持
東南アジアエリア：東南アジアでの事業基盤構築

2026年エリア別施策	
中国	・上海エリア外での専売店拡大による温水機器の販売台数確保 ・温水機器とセット販売による厨房機器の販売台数拡大 ・販売台数に応じた固定費コントロールによる費用削減
北米	・家庭用タンクレスの収益性を意識したチャネルミックス ・業務用（給湯・暖房）へのリソースシフトによる業務用機器の販売台数拡大 ・エネルギーシフトに対応したヒートポンプ商材の取組み強化
豪州	・タンクの強みを活かしたヒートポンプ給湯機の販売台数拡大 ・業務用給湯器、スマート電気温水器の販売拡大 ・生産効率向上による原価低減
東南アジア	・ノーリツブランドの浄水器・電気温水器の東南アジアへの展開 ・持分法適用会社であるカンガルー社の原価改善とベトナムでの収益拡大

中国エリア

温水機器・厨房機器の販売台数確保

- 地方エリアでの専売店拡大
- 温水機器と厨房機器のセット販売による拡販
- 販売に応じた費用コントロールによる費用削減



温水機器



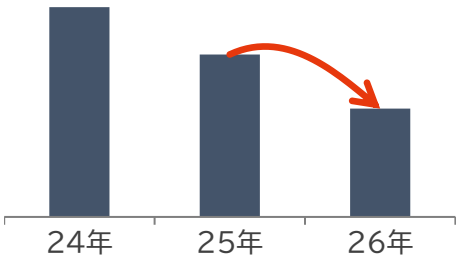


厨房機器

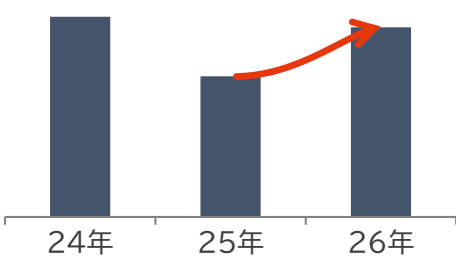
【成果】市況低迷継続の中、温水販売台数は累計で減少

- 温水：販売台数の回復に向け、9月から新製品を投入も累計で減少
- 厨房：新商品の販売が好調継続、温水機器とのセット販売を強化

＜能率中国 家庭用温水＞



＜能率中国 厨房＞



＜新製品　温泉シリーズ＞



※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

北米エリア

チャネルミックス改善、業務用機器の拡販とエネルギーシフトへの対応

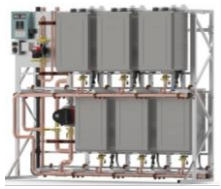
- 家庭用：タンクレスのチャネルミックス販売で収益性向上
  高効率給湯器の拡販
- 業務用: ラックシステムでの業務用給湯器の拡販
- 暖房用: コンビボイラー／高効率ボイラー販売強化

当社商品の強み

・様々な現場に対応可能な排気・配管設計
・業界最高クラスの高い熱効率と低NOx燃焼
・全一次空気燃焼給湯器の幅広い品揃え
（エナジースター基準変更対応）


高効率給湯器

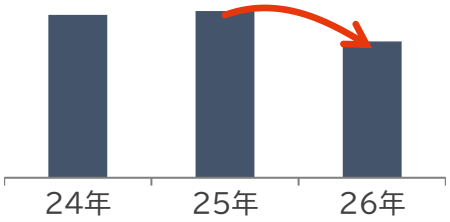

ハイブリッドホット


ラックシステム

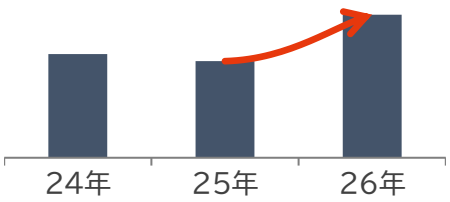
【成果】 チャネル政策推進と、業務用機器の増量で収益性向上

- 家庭用: タンクレス給湯器は台数減少も、チャネルミックスの改善で収益性が向上
- 業務用: ハイブリッドホット、ラックシステム等の提案強化で販売拡大
- 暖房用: 需要回復と価格改定効果で業績が安定

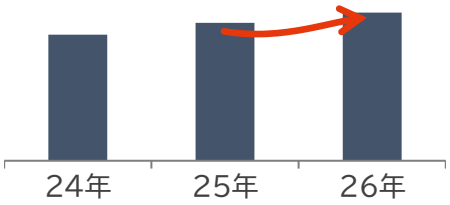
＜タンクレス給湯器＞



＜業務用＞



＜暖房用＞



※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

豪州エリア

市場の電化加速に対応し、電化商材の拡販

- 成長分野商品であるヒートポンプ給湯機の販売台数拡大
- 業務用給湯器、スマート電気温水器の販売拡大
- 生産効率向上による原価低減


家庭用給湯器

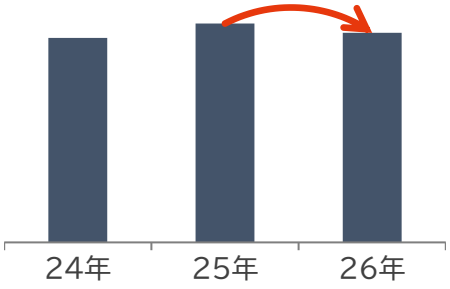

業務用給湯器


ヒートポンプ給湯機

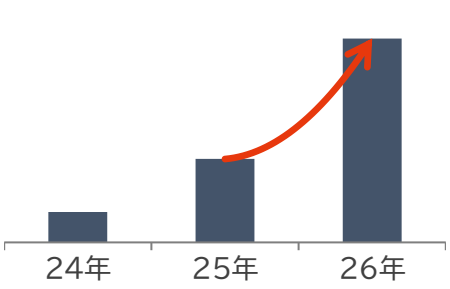
【成果】電化商材の成長で、継続して増収増益を達成

- ヒートポンプ給湯機とスマート電気温水器などの電化商材が大幅伸長し業績貢献
- 経営コスト上昇の中、価格改定と生産効率向上で原価率上昇を抑制し増益

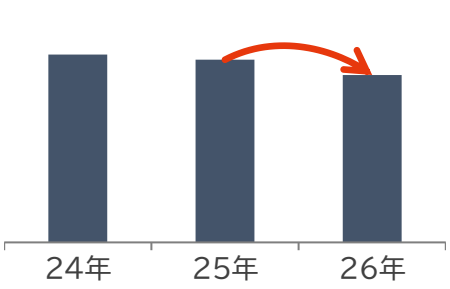
＜家庭用タンクレス給湯器＞



＜ヒートポンプ給湯機＞



＜業務用＞



※グラフは台数ベースで1～9月の実績比較

東南アジアでの事業基盤構築

■ ノーリツブランドの電気温水器・浄水器の拡販

■ 販売基盤強化

・ベトナム周辺国で販路開拓（ローカル企業との協業）

■ Kangaroo社の原価改善と収益拡大





ノーリツブランドの浄水器



ノーリツブランドの電気温水器

【成果】 ベトナムの持分法適用会社Kangaroo社が増収増益で継続し黒字化

● 東南アジアエリアでの拡販に向け、開発強化とシンガポールの進出など、新規販売国拡大に向けた取組みを強化

● Kangaroo社の業績が拡大、販売実績は市場の伸びを大きく上回るペースで拡大
増収効果と原価低減活動が、継続した黒字化に寄与

■2026年度　通期計画 再修正

■「Vプラン26」2026年 再修正計画

・国内事業：通期計画に修正なし
・海外事業：中国の情勢の更なる悪化を受け、計画の下方修正

単位：百万円

	2025年12月期実績	2026年12月期修正計画	2026年12月期再修正計画	修正差	前年差
売上高	202,049	214,000	208,000	△6,000	+5,951
国内事業	136,748	146,500	146,500	―	+9,752
海外事業	65,301	67,500	61,500	△6,000	△3,801
営業利益	4,300	4,500	2,800	△1,700	△1,500
国内事業	2,121	2,800	2,800	―	+679
海外事業	2,179	1,700	0	△1,700	△2,179
経常利益	5,544	5,200	3,200	△2,000	△2,344
親会社株主に帰属する当期純利益	3,358	8,600	8,600	―	+5,242
ROE（%）	2.5	6.0超	6.0超	―	―

年間想定為替レート、1米ドル=159.13円、1元=23.43円、1豪ドル=112.45円

経営指標　海外事業

中国情勢の更なる悪化を踏まえ、通期計画を再度下方修正

・中国は情勢の更なる悪化を見込み、通期計画を再度下方修正
・豪州、北米は順調に進捗し、通期見通しに変更なし

単位：百万円

		2025年 12月期実績	2026年 12月期 修正計画	2026年 12月期 再修正計画	修正差	前年差
中国	売上高	32,227	29,800	23,800	△6,000	△8,427
	営業利益	235	△1,050	△2,750	△1,700	△2,985
北米	売上高	19,206	20,600	20,600	—	+1,394
	営業利益	519	850	850	—	+331
豪州	売上高	11,837	14,900	14,900	—	+3,063
	営業利益	1,310	1,700	1,700	—	+390
その他	売上高	2,029	2,200	2,200	—	+171
	営業利益	113	200	200	—	+87
合計	売上高	65,301	67,500	61,500	△6,000	△3,801
	営業利益	2,179	1,700	0	△1,700	△2,179

年間想定為替レート、1米ドル=159.13円、1元=23.43円、1豪ドル=112.45円

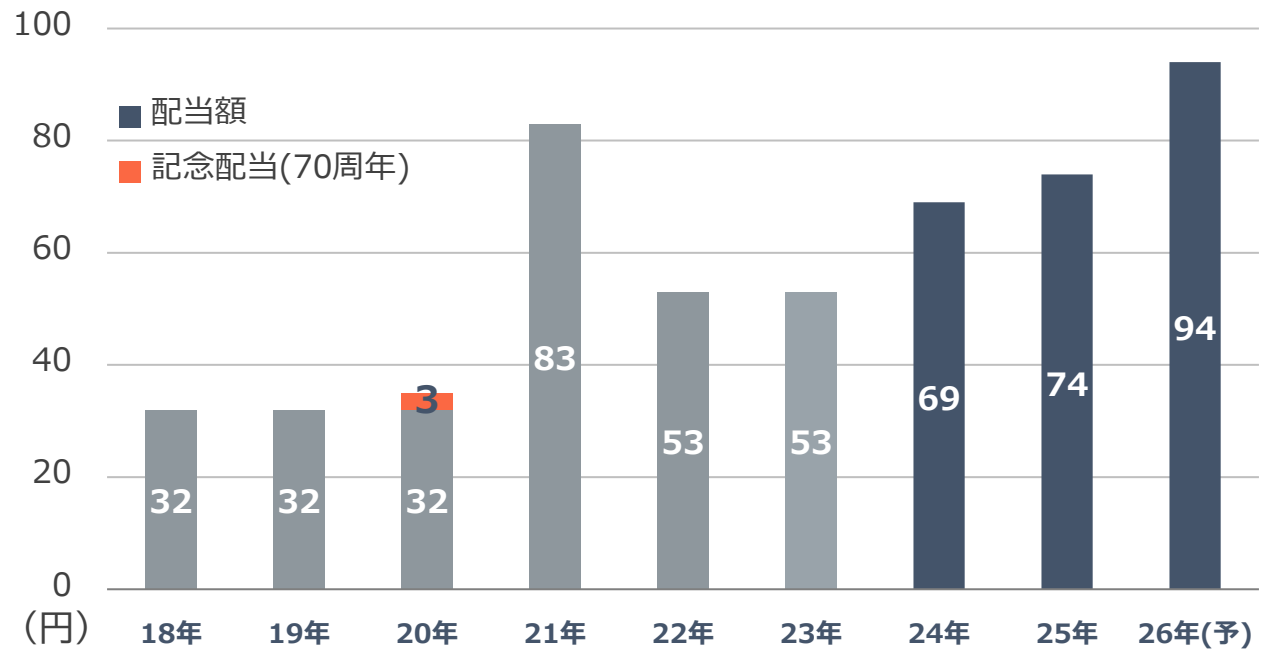
資本政策

資本政策

東証『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』への取り組み

資本政策	①株主還元策の強化 連結配当性向50%の適用見込みで、年間配当94円（中間47円/期末47円）を予定。 10億円を上限とする自己株式の取得を予定。 ②政策保有株式の縮減 2025年12月末連結B/Sの保有金額と純資産の割合28.1%を、2026年12月末までに20%未満とし、売却資金を成長投資に振り向ける。 ③自己株式の消却 2026年末で自己株式を、発行済み株式総数の5%を残して消却する。

株主還元

配当方針	「連結配当性向50%」または「DOE2.5%」のいずれか高い方を選択
配当実績（予定）	
自己株式の取得	➢ 2026年12月31日を期限として、10億円を上限とする自己株式取得を実施予定。2026年9月30日時点で、237,400株の自己株式を取得（取得価格5億55百万円）

投資有価証券の売却

資本政策（一部抜粋）

東証『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』への取り組み	
資本政策	政策保有株式の縮減 2025年12月末連結B/Sの保有金額と純資産の割合28.1%を 2026年12月末までに20%未満とし、売却資金を成長投資に振り向ける

【進捗】 政策保有株式5銘柄 8,805百万円分を売却

政策保有株式の純資産割合は24.1%となり4.0pt縮減

売却益6,687百万円を特別利益として計上し、成長投資の資金として活用

（単位：百万円）	期首	第3四半期末	
			（時価上昇の影響控除）
純資産	145,029	144,092	143,215
政策保有株式	40,800	34,702	33,475
純資産割合	28.1%	24.1% （△4.0%）	23.4% （△4.7%）

※ 政策保有株式には、みなし保有株式 1,961百万円を含む

決算補足データ

海外エリア別の通期 再修正計画〈現地通貨ベース〉

		2025年度 通期実績	2026年度 通期計画	前年差 （金額）	増減率 （%）
中国 （千元）	売上高	1,543,469	1,015,828	△527,641	△34.2%
	営業利益	11,286	△117,375	△128,661	―
北米 （千米ドル）	売上高	128,257	129,574	+1,317	+1.0%
	営業利益	3,468	5,348	+1,880	+54.2%
豪州 （千豪ドル）	売上高	122,542	132,143	+9,601	+7.8%
	営業利益	13,569	15,058	+1,489	+11.0%

※ 中国エリアのみ通期計画を修正

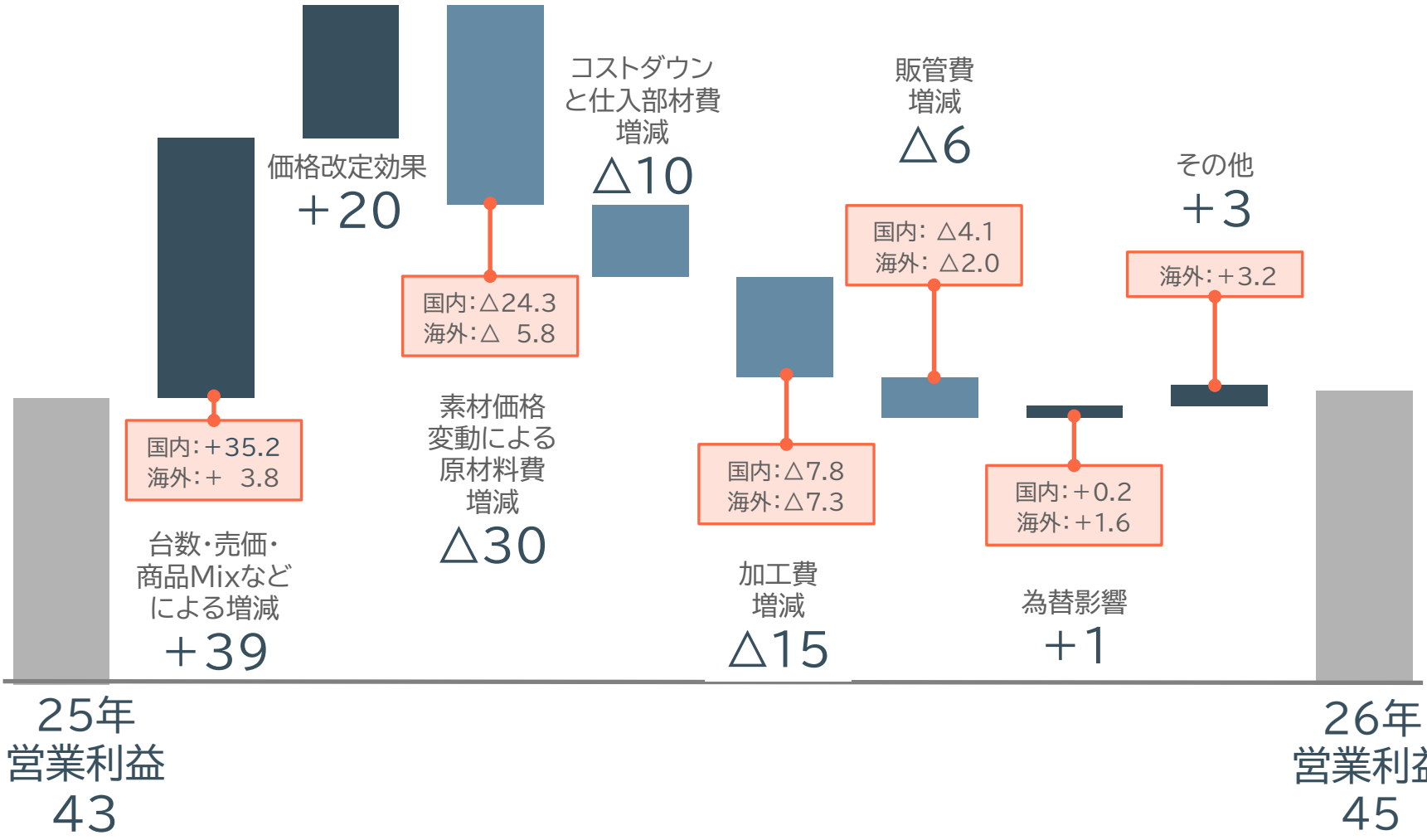
海外エリア別の3期累計 決算結果〈現地通貨ベース〉

		2025年度 3期累計実績	2026年度 3期累計実績	前年差 （金額）	増減率 （%）
中国 （千元）	売上高	1,180,365	772,053	△408,312	△34.6%
	営業利益	3,455	△74,551	△78,006	―
北米 （千米ドル）	売上高	92,329	90,100	△2,228	△2.4%
	営業利益	△379	4,245	+4,625	―
豪州 （千豪ドル）	売上高	91,839	101,674	+9,835	+10.7%
	営業利益	9,590	11,801	+2,210	+23.1%

2026年度　通期計画：営業利益増減要因（修正計画）

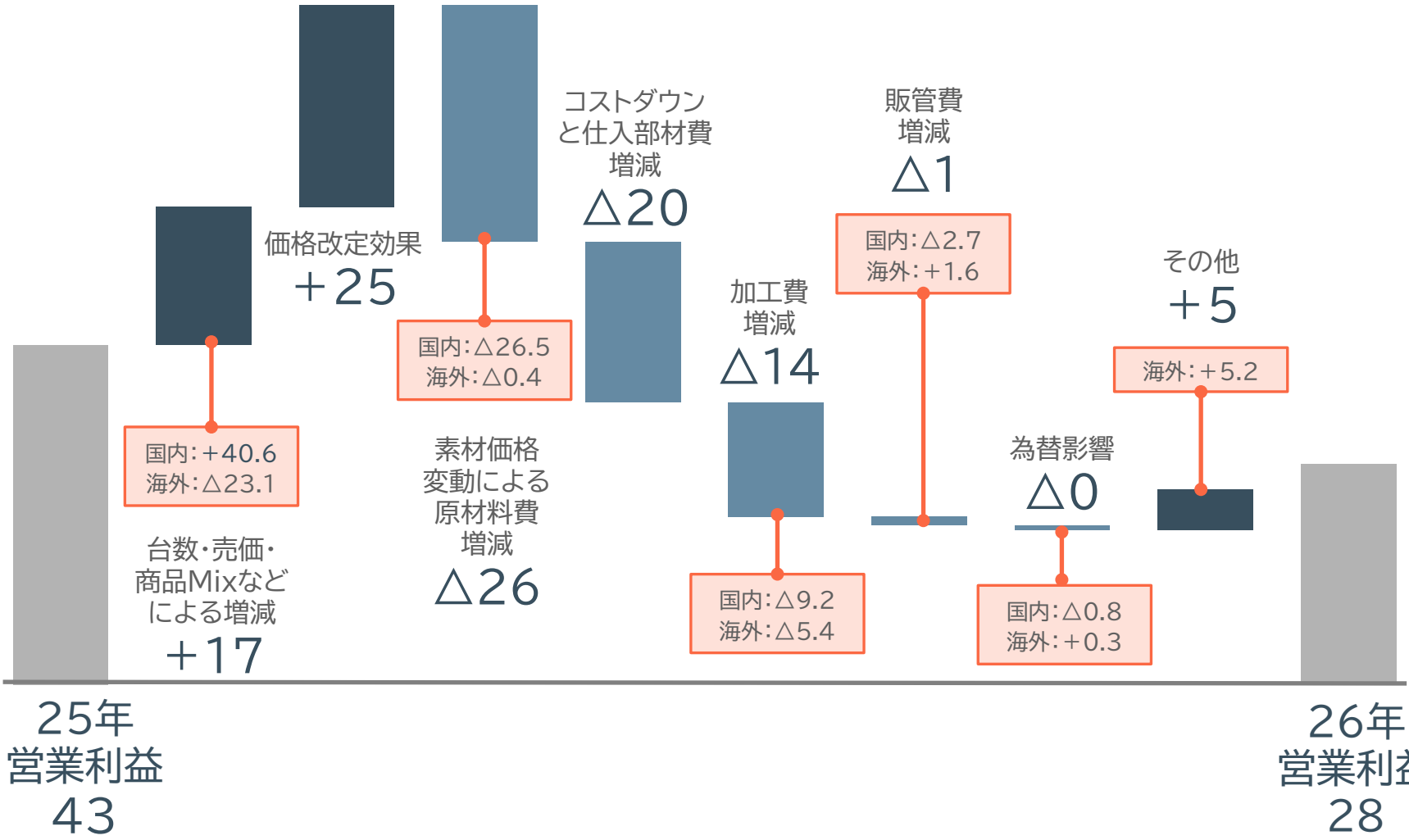
新しい幸せを、わかすこと。
NORITZ

単位：億円



2026年度　通期計画：営業利益増減要因（再修正計画）

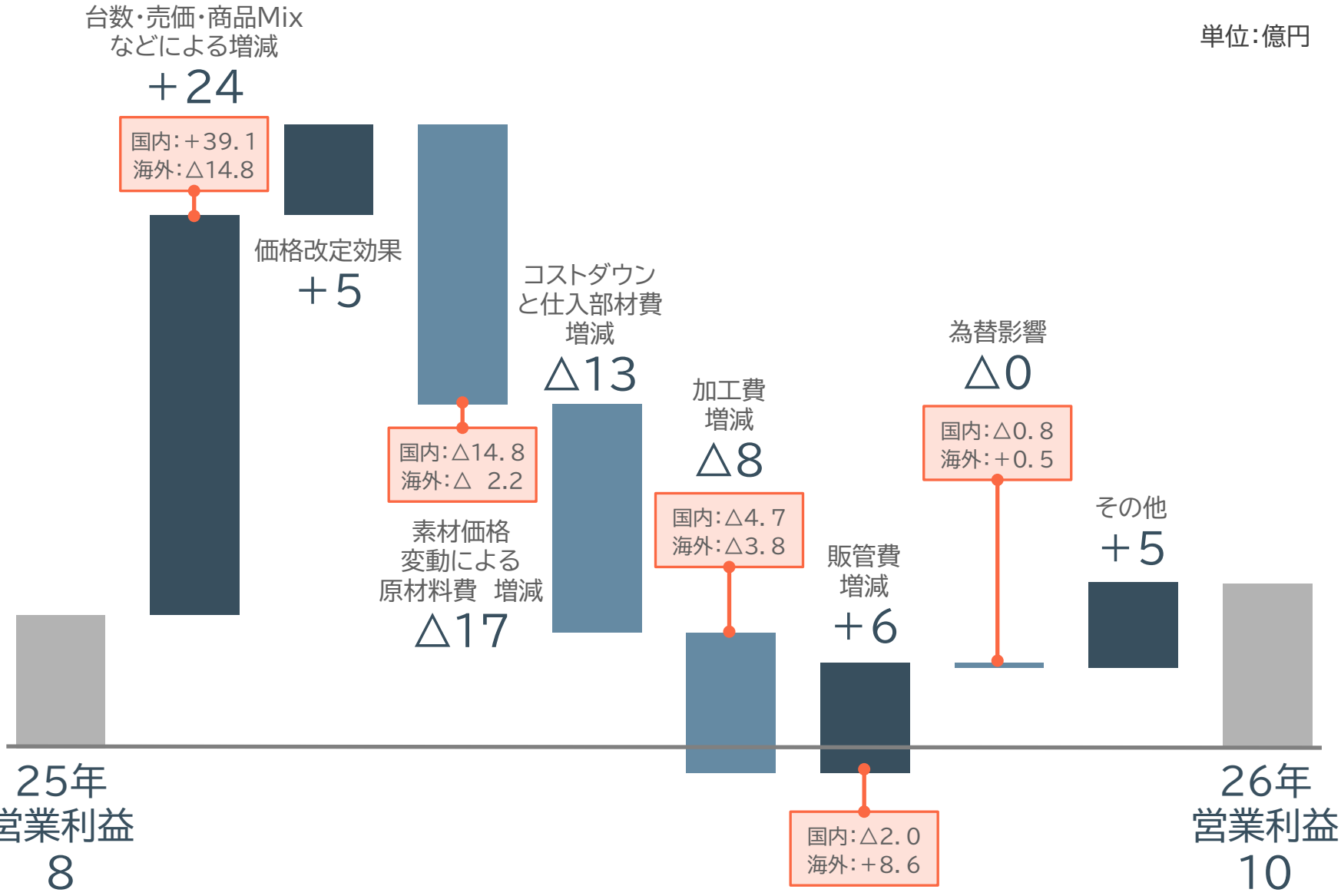
単位：億円



新しい幸せを、わかすこと。
NORITZ

2026年度　第3四半期累計：営業利益増減要因

単位：億円



APPENDIX

前年比較

単位:百万円

	2025年 1期 実績	2026年 1期 実績	2025年 2期 実績	2026年 2期 実績	2025年 3期 実績	2026年 3期 実績
売上高	52,860	51,635	45,663	47,931	44,087	47,932
国内事業	36,254	36,686	29,009	32,676	29,394	32,812
海外事業	16,605	14,948	16,654	15,255	14,692	15,119
営業利益	2,007	1,678	△348	155	△849	△830
国内事業	1,568	1,422	△895	△80	△887	△719
海外事業	438	255	546	235	37	△110
経常利益	2,165	1,517	70	502	△470	△574
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,432	4,463	△227	533	△532	859

国内事業の結果

単位：百万円

	2025年 1期 実績	2026年 1期 実績	2025年 2期 実績	2026年 2期 実績	2025年 3期 実績	2026年 3期 実績
売上高	36,254	36,686	29,009	32,676	29,394	32,812
温水空調	30,251	30,553	23,146	26,517	23,307	26,376
内 住宅用	27,561	27,531	20,953	24,060	20,913	23,578
内 非住宅用	2,689	3,022	2,193	2,457	2,394	2,798
厨房	3,939	3,996	3,771	3,994	3,763	4,165
その他	2,064	2,136	2,090	2,164	2,323	2,270
営業利益	1,568	1,422	△895	△80	△887	△719

海外事業の結果

単位:百万円

		2025年 1期 実績	2026年 1期 実績	2025年 2期 実績	2026年 2期 実績	2025年 3期 実績	2026年 3期 実績
中国	売上高	9,026	6,022	8,710	5,972	6,437	6,002
	営業利益	212	△191	273	△643	△415	△902
北米	売上高	4,589	5,122	4,635	4,949	4,417	4,238
	営業利益	△23	100	△25	374	△7	199
豪州	売上高	2,502	3,275	2,869	3,833	3,309	4,248
	営業利益	211	276	247	449	447	591
その他	売上高	487	528	438	499	528	629
	営業利益	37	70	50	54	12	1
合計	売上高	16,605	14,948	16,654	15,255	14,692	15,119
	営業利益	438	255	546	235	37	△110

免責事項

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料の公開日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

株式会社ノーリツ
https://www.noritz.co.jp/company/ir/

Copyright ©2026 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.